

2023年度第3四半期決算の概要及び 2023年度業績予想の概要

三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2024年2月7日

目次

1. 2023年度第3四半期決算の概要	
1) 主要関連市場動向	・・・1
2) 主な投資案件等の状況	・・・2
3) 決算の概要	・・・3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期）	・・・5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）	・・・6-9
6) 非経常項目の内訳	・・・10
7) 財政状態計算書	・・・11
8) キャッシュ・フロー計算書	・・・12
2. 2023年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	・・・13-14
2) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年決算）	・・・15-18
3) セグメント別 コア営業利益増減（3Q→4Q）	・・・19
4) キャッシュ・フロー計算書の予想	・・・20
3. 補助資料	・・・21-28

1. 2023年度第3四半期決算の概要

1) 主要関連市場動向

関連市場		23年度			23年度予想 (対前回11/8予想)		
		3Q	4Q	23.3Q → 23.4Q			
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	引き続き堅調に推移 (在庫調整解消)	引き続き堅調に推移	➡	堅調に推移	➡	
	農業市場	引き続き堅調に推移も 一部地域で在庫調整	引き続き堅調に推移も 一部地域で在庫調整	➡	堅調に推移も 一部地域で在庫調整	➡	
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界)*			➡		➡	
	日本	北米のストライキ影響はあるが グローバルに回復	季節性の影響はあるが 北米の生産台数は回復	➡	グローバルに回復	➡	
	北米			➡		➡	
	中国			➡		➡	
	ASEAN			➡		➡	
欧州	➡			➡			
ICT ソリューション	半導体市場	需要減継続も 底打ち感あり	需要減は底打ちも 季節性の影響あり	➡	需要減継続	➡	
	スマートフォン市場	需要減継続も 底打ち感あり	需要減は底打ちも 季節性の影響あり	➡	需要減継続	➡	
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	市況	TDI	TDIの市況は低水準	TDIの市況は低水準	➡	変化なし	➡
		MDI	市況は安定的に推移	市況は安定的に推移	➡	変化なし	➡
		クラッカー稼働率	低稼働継続	低稼働継続	➡	低稼働継続	➡

* 外部機関参考による当社推定値

2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23	FY24以降	
ライフ & ハルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-		[Red bar]			23年度 商業運転開始等
	農薬事業買収	22年1月	-		[Red bar]			23年度 意思決定案件等
	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-		[Red bar]			
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-			[Red bar]		
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	24年1月	-			[Red bar]		
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT				[Blue bar]	
ICTソリューション	EUVベリクル新設備@Japan	21年4月	-	[Orange bar]				
	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%		[Orange bar]			
	ベリクル事業買収	23年7月	-			[Orange bar]		
	イクロステーブ™能力増強@Taiwan	24年2月	380万㎡				[Orange bar]	
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-				[Orange bar]	
	ポリウレタンディスプレイ(PUD)能力増強@Japan	25年6月	100%				[Orange bar]	
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	本州化学工業 連結子会社化	21年10月	-	[Green bar]				
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年7月	200KT				[Green bar]	
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT				[Green bar]	
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-		[Green bar]			
	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-			[Green bar]		
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-		[Purple bar]			
最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT				[Red bar]	生産停止
	ポリエチレンテレフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	145KT				[Red bar]	生産停止
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-			[Red bar]		株式譲渡
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT				[Red bar]	生産能力最適化

3-1) 決算の概要

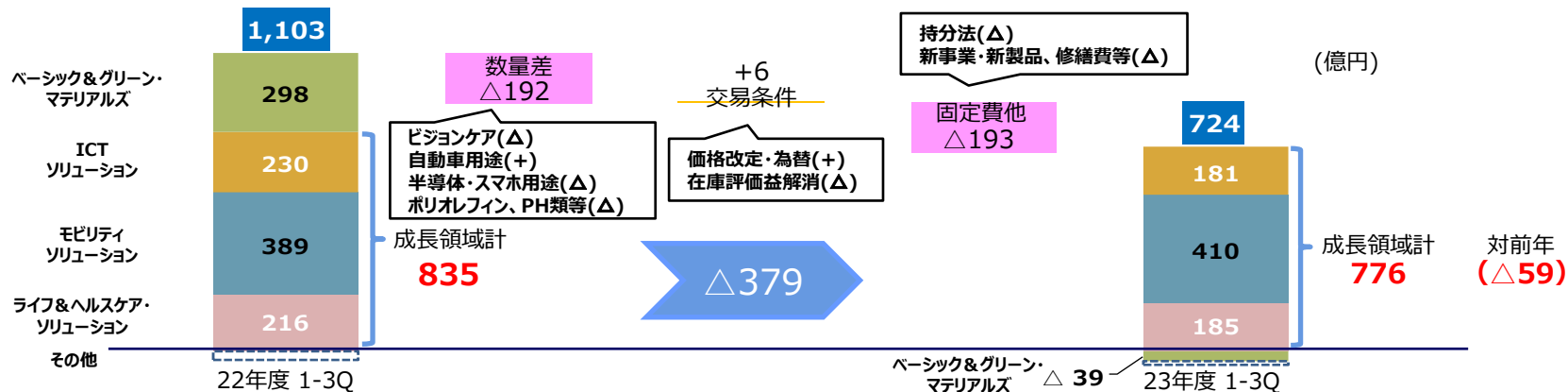
(単位：億円)

摘 要	22年度 4-12月決算	23年度 4-12月決算	増減	増減率
売上収益	14,289	12,745	△ 1,544	△11%
コア営業利益	1,103	724	△ 379	△34%
(うち、持分法による投資損益)	184	101	△ 83	△45%
非経常項目	△ 33	△ 124	△ 91	-
営業利益	1,070	600	△ 470	△44%
金融収益・費用	△ 68	△ 8	60	-
税引前四半期利益	1,002	592	△ 410	△41%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	649	373	△ 276	△43%

為替レート(円/US\$)	137	143	+ 6
国産ナフサ(円/KL)	80,000	68,000	△ 12,000

3-2) 決算の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	損益増減
数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンケアは一部在庫調整の影響により上期の販売数量は減少。 ・自動車用途関連は自動車生産台数の回復に伴い販売数量は増加。 ・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により販売数量は減少。 ・ポリオレフィン及びフェノール類を中心に需要減により販売数量は減少。 	(△) (+) (△) (△)
交易条件	<ul style="list-style-type: none"> ・価格改定及び円安影響により交易条件改善。 ・22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消。 	(+) (△)
固定費他	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費の資材費高騰及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。 ・持分法投資損益の減少。 ・事業構造改善による収益改善。 	(△) (△) (+)







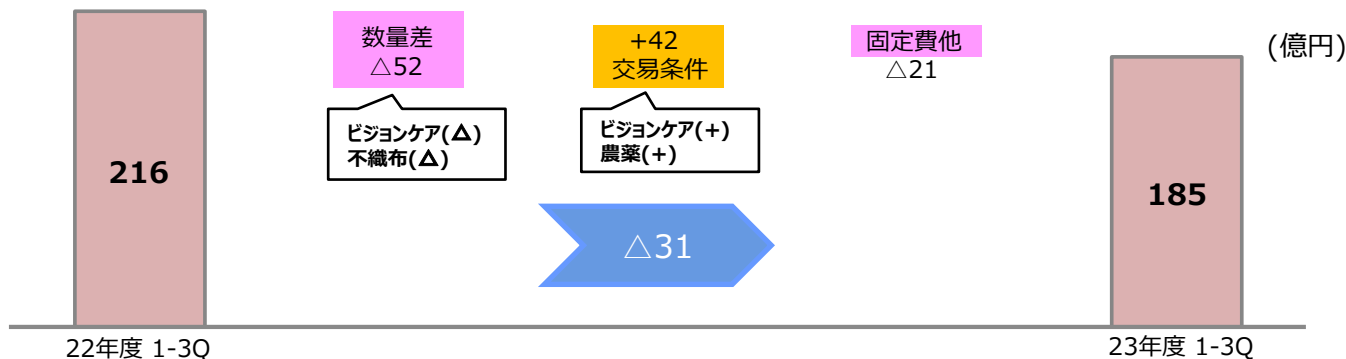
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	22年度 4-12月決算	23年度 4-12月決算	増減	22年度 4-12月決算	23年度 4-12月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,868	1,886	18	216	185	△ 31	△ 52	42	△ 21
モビリティソリューション	3,908	3,984	76	389	410	21	23	46	△ 48
ICTソリューション	1,796	1,767	△ 29	230	181	△ 49	△ 43	44	△ 50
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	6,605	4,999	△ 1,606	298	△ 39	△ 337	△ 120	△ 126	△ 91
その他	112	109	△ 3	△ 30	△ 13	17	-	-	17
合計	14,289	12,745	△ 1,544	1,103	724	△ 379	△ 192	6	△ 193
成長領域*	7,572	7,637	65	835	776	△ 59			

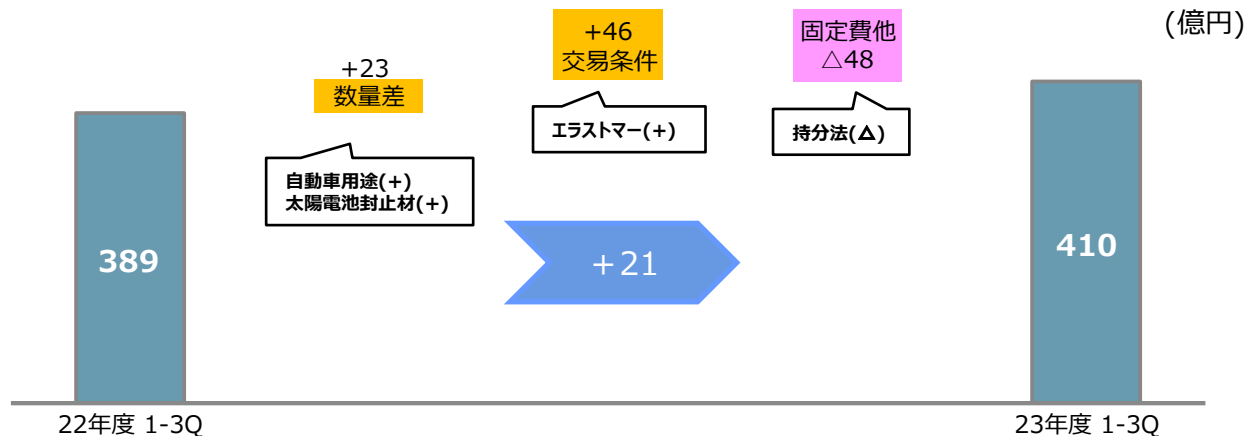
*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

	23年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> 一部在庫調整の影響により上期の販売数量は減少 22年度値上げにより交易条件は改善 	数量(Δ) 交易条件(+)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> 需要減少に伴い販売数量は減少 	数量(Δ)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> 販売は前年並みに推移 	-
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> 一部地域で在庫調整の動きがあるものの、販売は堅調に推移 為替差により交易条件は改善 拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)

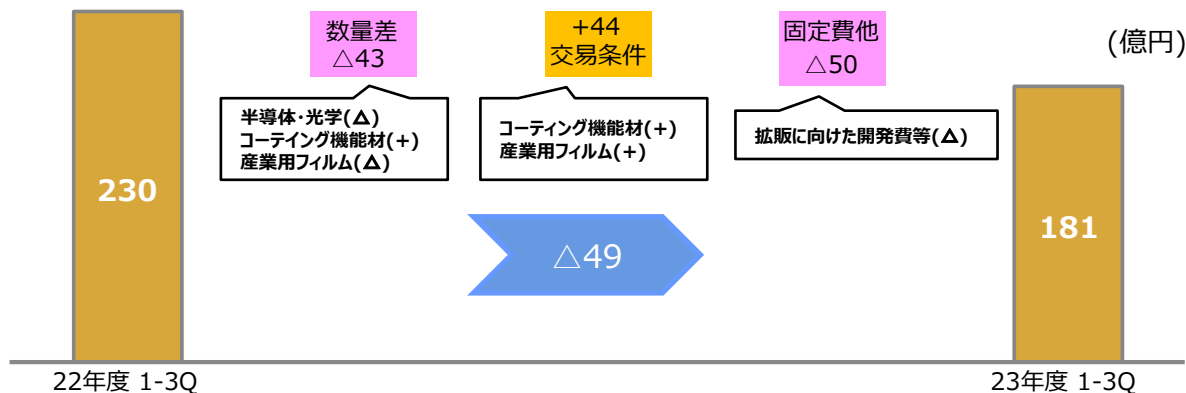


5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	23年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 太陽電池封止材の販売は堅調に推移 価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトにより交易条件は改善 	交易条件(+) 持分法(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途関連は回復 為替差により交易条件は改善 	数量(+)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車市場回復に伴う試作及び開発案件の受注が増加 	数量(+) 固定費(Δ)

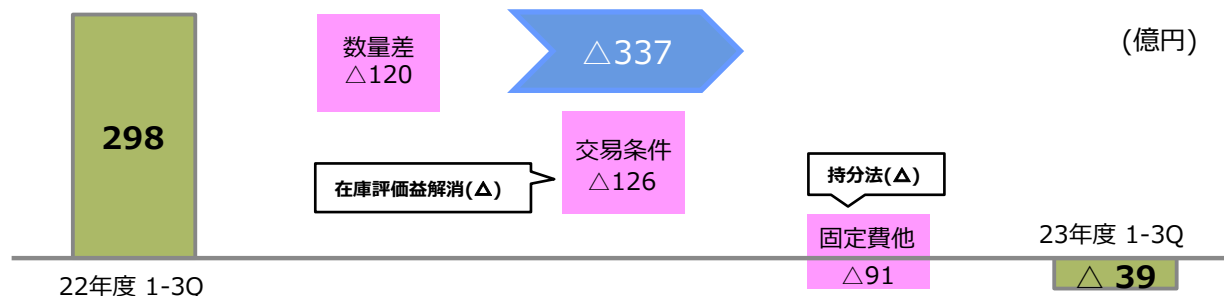


	23年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体及びスマートフォン市場需要鈍化により販売数量は減少 ・下期EUVペリクルの販売は堅調、及びペリクル事業買収による増販 ・拡販に向けた開発費等の増加 	数量(△) 固定費(△)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・原料価格下落により交易条件は改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(△)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体需要鈍化により販売数量は減少 ・為替差により交易条件は改善 	数量(△) 交易条件(+)



5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	23年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> 需要減により販売数量は減少 値上げによる交易条件改善はあるも、22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消 	数量(Δ) 交易条件(+) 在庫(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> 需要減により販売数量は減少及び交易条件は悪化 持分法投資損益の減少 事業構造改善による収益改善 	数量(Δ) 交易条件(Δ) 在庫(Δ) 持分法(Δ) 構造改善(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 持分法投資損益の減少 	持分法(Δ)



(単位：億円)

摘 要	22年度 4-12月決算	23年度 4-12月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 16	△ 13	3
減 損 損 失	△ 40	△ 142	△ 102
そ の 他	23	31	8
非経常項目 合計	△ 33	△ 124	△ 91

7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	23年3月末	23年12月末	増減	摘 要	23年3月末	23年12月末	増減
流動資産	(10,943)	(11,268)	(325)	負債	(11,849)	(12,167)	(318)
現金及び 現金同等物	1,863	2,146	283	営業債務	1,643	1,727	84
営業債権	3,522	3,361	△ 161	有利子負債	7,947	8,065	118
棚卸資産	4,419	4,535	116	その他	2,259	2,375	116
その他	1,139	1,226	87	資本	(8,833)	(9,459)	(626)
非流動資産	(9,739)	(10,358)	(619)	親会社の所有者に 帰属する持分	7,868	8,244	376
有形固定資産及び 使用権資産	6,009	6,389	380	非支配持分	965	1,215	250
のれん及び 無形資産	675	745	70				
非流動の その他の資産	3,055	3,224	169				
合 計	20,682	21,626	944	合 計	20,682	21,626	944

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	22年度 4-12月決算	23年度 4-12月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	441	1,150	709
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 673	△ 698	△ 25
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 232	452	684
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	290	△ 237	△ 527
IV. その他	64	68	4
現金及び現金同等物増減	122	283	161

2. 2023年度業績予想の概要

22年度よりセグメントを変更しております。
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度以降のセグメント比較を目的に
作成した概算値です。

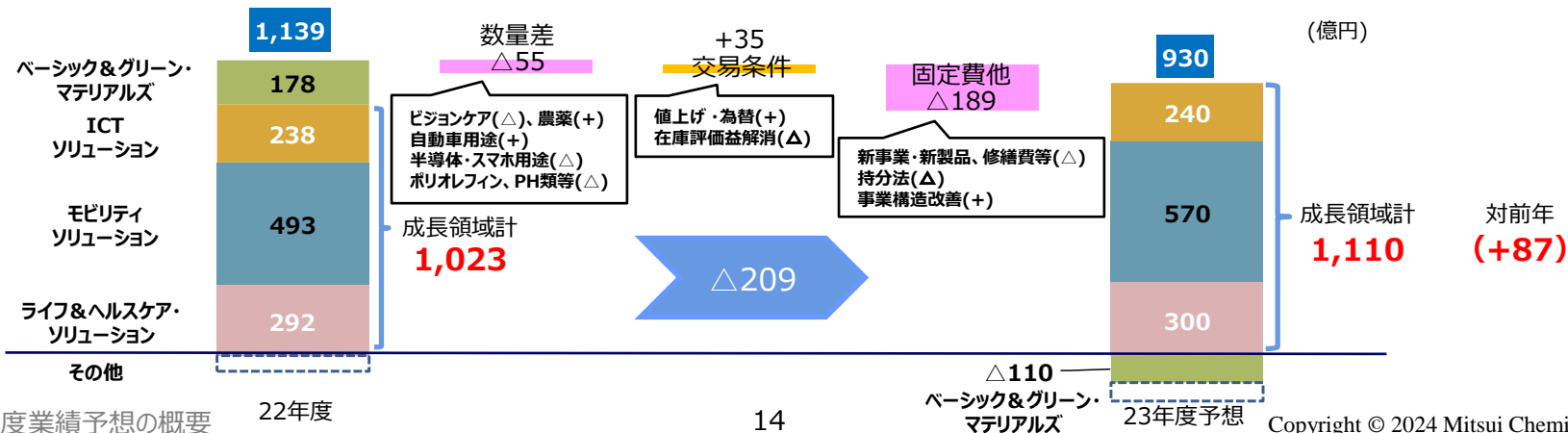
1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	22年度決算		23年度予想		増減		23年度前回予想 (23.11.8発表)
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	年度 (b)-(a)	%	
売上収益	9,511	18,795	8,237	17,410	△ 1,385	△7%	17,570
コア営業利益	776	1,139	420	930	△ 209	△18%	1,120
非経常項目	△ 51	151	△ 108	△ 240	△ 391	-	△ 150
営業利益	725	1,290	312	690	△ 600	△47%	970
金融収益・費用	△ 18	△ 117	18	0	117	-	10
税引前利益	707	1,173	330	690	△ 483	△41%	980
親会社の所有者に帰属する 当期利益	444	829	207	500	△ 329	△40%	760
	為替レート(円/US\$)	134	135	141	144	+ 9	145
	国産ナフサ(円/KL)	83,750	76,600	65,550	68,700	△ 7,900	70,300
配 当	中間	期末	中間	期末	通期増減		期末
	60 円/株	60 円/株	70 円/株	70 円/株	通期 +20円/株		70 円/株
	通期 120 円/株		通期 140 円/株				通期 140 円/株

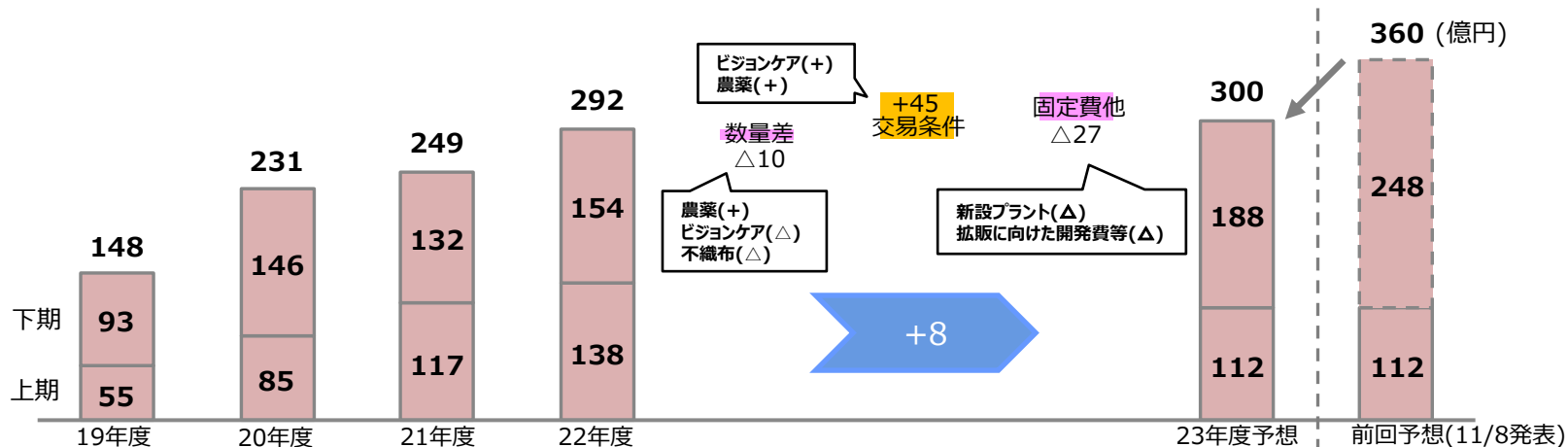
1-2) 業績予想の概要 : コア営業利益 (対前年決算)

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは一部在庫調整の影響により上期の販売数量は減少。	(△)
	・農薬は引続き販売堅調を見込む。	(+)
	・自動車用途回復、太陽電池封止材等は販売堅調を見込む。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により販売数量は減少。	(△)
	・ポリオレフィン及びフェノール類を中心に需要減により販売数量は減少。	(△)
交易条件	・価格改定及び円安影響により交易条件改善。	(+)
	・22年度原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消。	(△)
固定費他	・資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。	(△)
	・持分法投資損益の減少。	(△)
	・事業構造改善による収益改善。	(+)



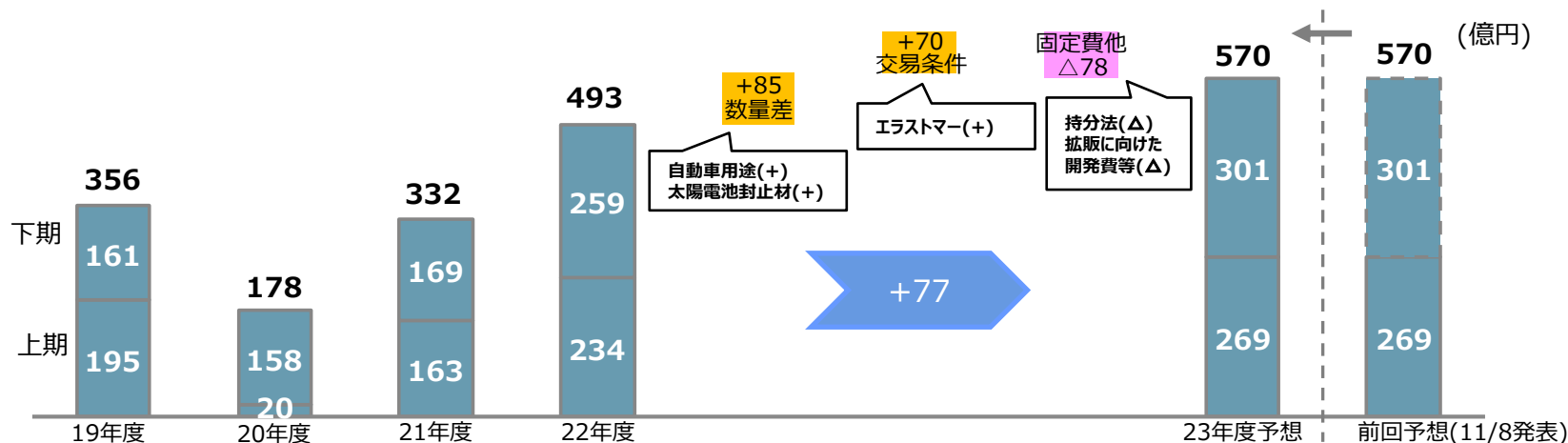
2-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因	前回予想(11/8発表)からの変化
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> 一部在庫調整の影響により上期の販売数量は減少 22年度値上げによる交易条件改善 新設プラント稼働による固定費増(MR™) 	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)	数量(Δ) ・ビジョンケアは在庫調整解消も上期の減販分は下期で取り返せず ・農薬は一部地域で気候影響等による在庫調整で減販
不織布	<ul style="list-style-type: none"> 需要減少に伴い販売数量は減少 	数量(Δ)	
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年並みに推移 	-	
農薬	<ul style="list-style-type: none"> 一部地域で在庫調整の動きがあるものの、販売は堅調に推移 為替差による交易条件改善 拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費増加 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)	



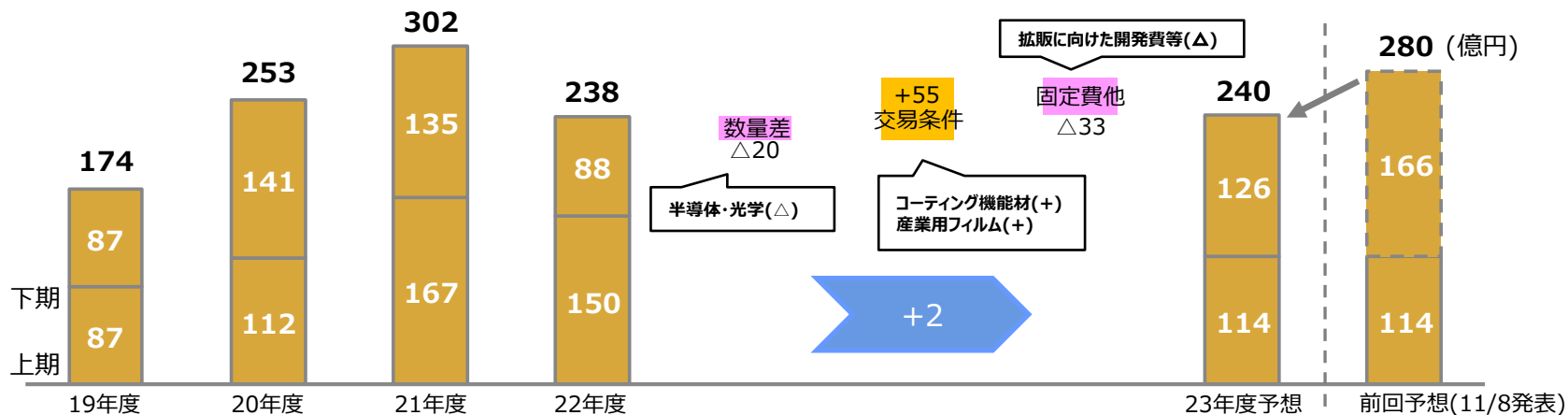
2-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因	前回予想(11/8発表)からの変化
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売数量増 価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易条件改善 	数量(+) 交易条件(+) 持分法(Δ)	数量(Δ) ・自動車用途以外の需要回復遅れ
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復に伴う販売数量増 為替差により交易条件改善 拡販に向けた開発費等の増加 	数量(+) 固定費(Δ)	
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車市場回復に伴う受注増 拡販に向けた開発費等の増加 	数量(+) 固定費(Δ)	




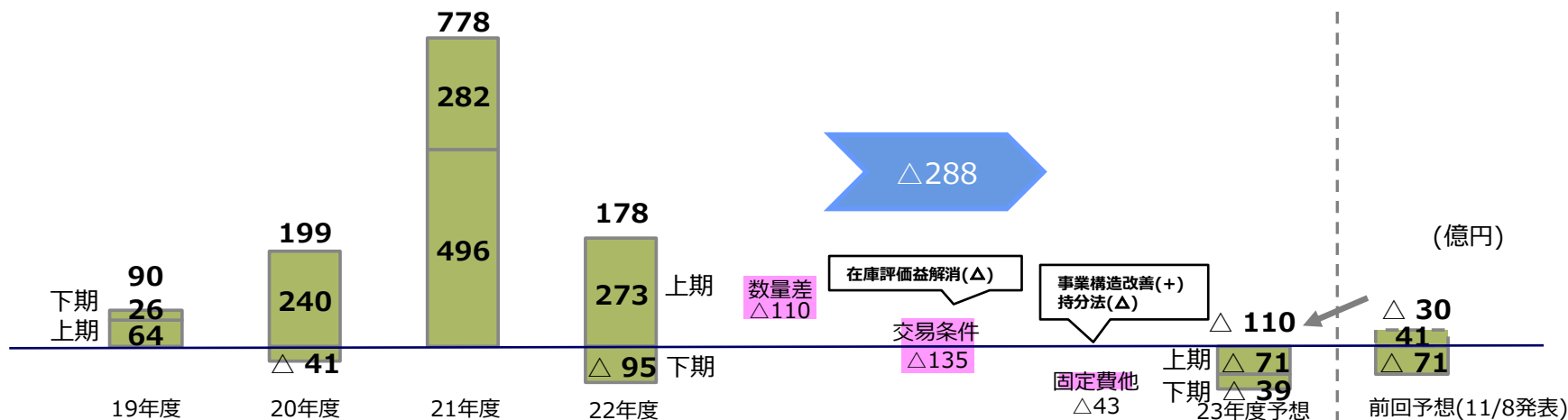
2-3) ICTソリューション: コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因	前回予想(11/8発表)からの変化
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 半導体及びスマートフォン市場需要鈍化により販売数量は減少 下期EUVペリクルの販売は堅調、及びペリクル事業買収による増販 拡販に向けた開発費等の増加 	数量(Δ) 固定費(Δ)	<ul style="list-style-type: none"> 数量(Δ) 半導体、スマホ関連需要回復遅れ
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調に推移 原料価格下落により交易条件は改善 拡販に向けた開発費等の増加 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)	
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 為替差により交易条件は改善 	交易条件(+)	



2-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因	前回予想(11/8発表)からの変化
石化	<ul style="list-style-type: none"> 需要減により販売数量は減少 値上げによる交易条件改善はあるも、22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消 	数量(Δ) 交易条件(+) 在庫(Δ)	 数量(Δ) 需要鈍化
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> 需要減により販売数量は減少及び交易条件は悪化 持分法投資損益の減少 事業構造改善による収益改善 	数量(Δ) 交易条件(Δ) 在庫(Δ) 持分法(Δ) 構造改善(+)	
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 持分法投資損益の減少 	持分法(Δ)	



3) セグメント別 コア営業利益増減 (3Q→4Q)

(単位：億円)

セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	3Q	4Q 予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	73	115	42	数量(+) ビジョンケア、農薬
モビリティソリューション	141	160	19	数量(+)
ICTソリューション	67	59	△ 8	固定費(△)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	32	△ 71	△ 103	在庫(△) 固定費(△)
その他	△ 9	△ 57	△ 48	
合計	304	206	△ 98	
成長領域*	281	334	53	

*ライフ & ヘルスケア、モビリティ、ICT

4) キャッシュ・フロー計算書の予想

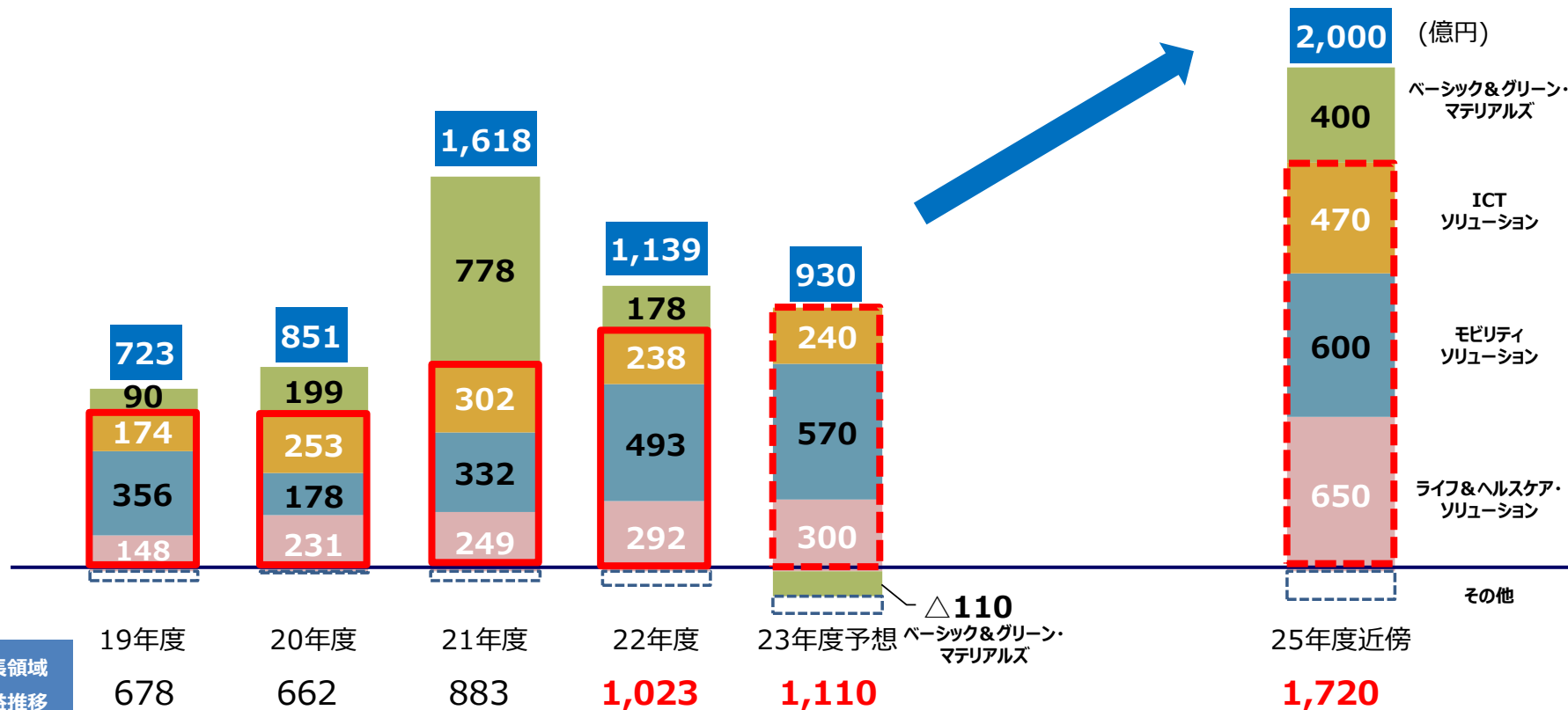
(単位：億円)

摘 要	22年度決算	23年度予想	増減	23年度 前回予想 (23.11.8発表)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,012	1,300	288	1,300
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,063	△ 1,060	3	△ 1,190
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 51	240	291	110
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	25	△ 220	△ 245	△ 210
IV. その他	77	70	△ 7	110
現金及び現金同等物増減	51	90	39	10

3. 補助資料

- 1) セグメント別コア営業利益推移
- 2) 製品価格の状況
- 3) 売上収益の増減概要
- 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 5) セグメント情報
- 6) データハイライト

1) セグメント別コア営業利益推移



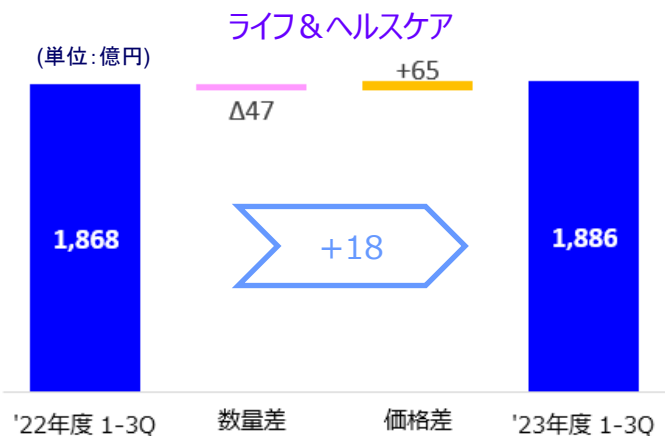
2) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

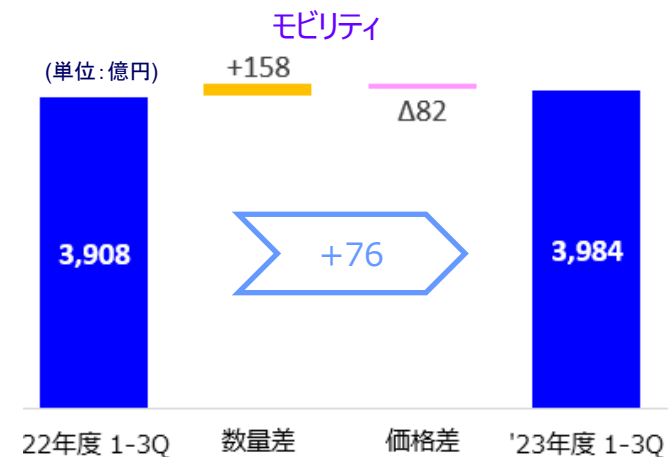
年		2021年				2022年				2023年			
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
国産標準 ナフサ価格	(円/KL)	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500	63,600	72,800
PE国内	(円/KG)	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度
PP国内	(円/KG)	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度
PH国内 (7オミリア価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940	\$870	\$950
BPA国内	(円/KG)	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)	→	→
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250	\$1,260	\$1,280
PTA 中国市況	(\$/T)	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800	\$790	\$750
PX (*ACP)	(\$/T)	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030	\$1,070	\$1,010
TDI 中国市況	(\$/T)	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190	\$2,060	\$1,950

* ACP アジア圏契約価格

3-1) 売上収益の増減概要

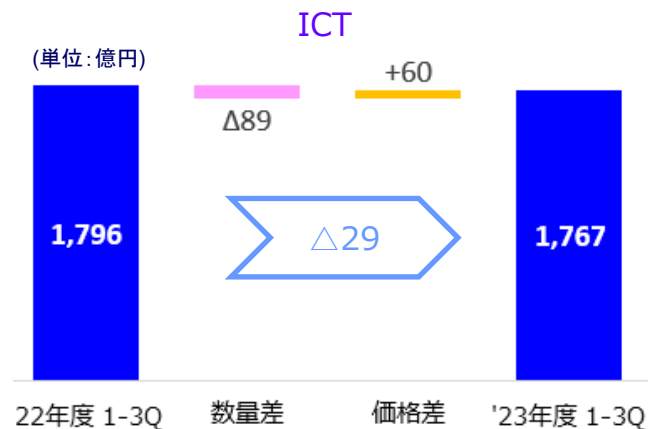


- ◆数量差 △47億円
・ビジョンケア材料及び不織布の販売は減少。
- ◆価格差 +65億円
・為替差等。

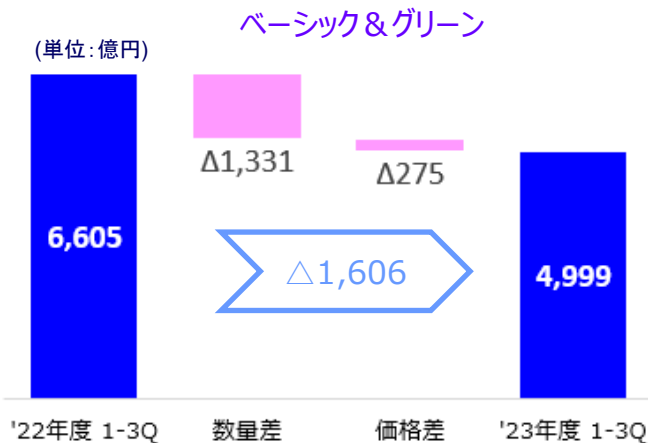


- ◆数量差 +158億円
・自動車用途、太陽電池封止材の販売は堅調。
- ◆価格差 △82億円
・原料価格下落による価格改定。

3-2) 売上収益の増減概要



- ◆数量差 $\Delta 89$ 億円
・半導体及びスマートフォン関連の販売は減少。
- ◆価格差 +60億円
・為替差等。



- ◆数量差 $\Delta 1,331$ 億円
・ポリオレフィン及びフェノール類の販売は減少。
- ◆価格差 $\Delta 275$ 億円
・原料価格下落による価格改定。



4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

セグメント	売上収益							
	22年度				23年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	587	634	647	714	571	620	695	864
モビリティソリューション	1,206	1,348	1,354	1,308	1,274	1,339	1,371	1,506
ICT ソリューション	592	590	614	561	569	565	633	653
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	2,343	2,140	2,122	1,885	1,627	1,594	1,778	1,601
その他	33	38	41	38	38	40	31	41
合計	4,761	4,750	4,778	4,506	4,079	4,158	4,508	4,665

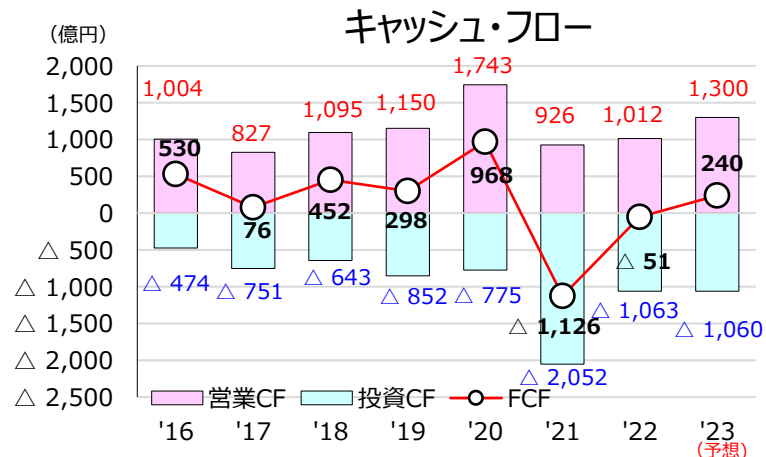
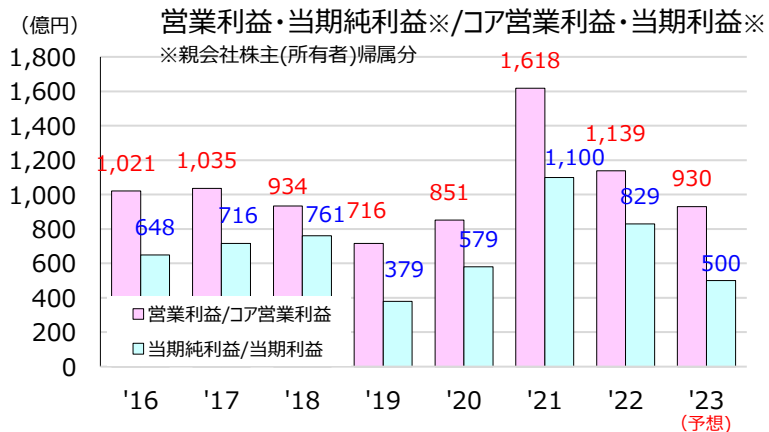
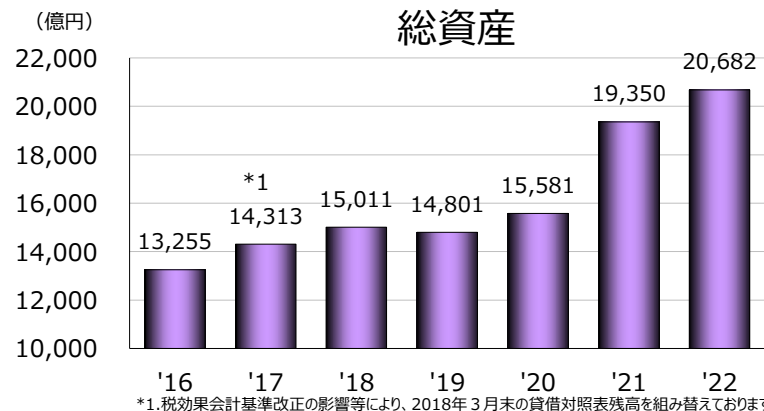
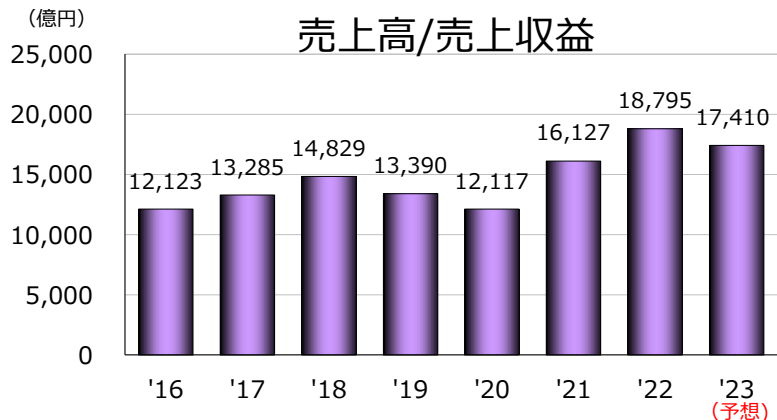
(単位：億円)

セグメント	コア営業利益							
	22年度				23年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	62	76	78	76	45	67	73	115
モビリティソリューション	95	139	155	104	123	146	141	160
ICT ソリューション	92	58	80	8	52	62	67	59
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	208	65	25	△ 120	△ 4	△ 67	32	△ 71
その他	△ 11	△ 8	△ 11	△ 32	△ 7	3	△ 9	△ 57
合計	446	330	327	36	209	211	304	206

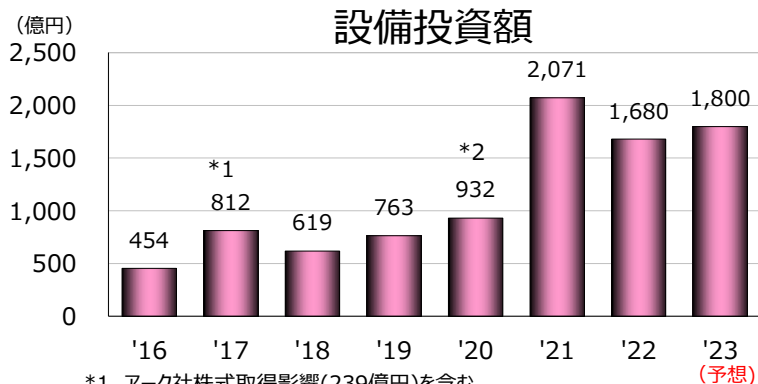
セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 医療材料（タウリン）、 不織布（衛生材料、工業資材）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（DUV、EUV、FPD）、アベル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ™、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

6-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

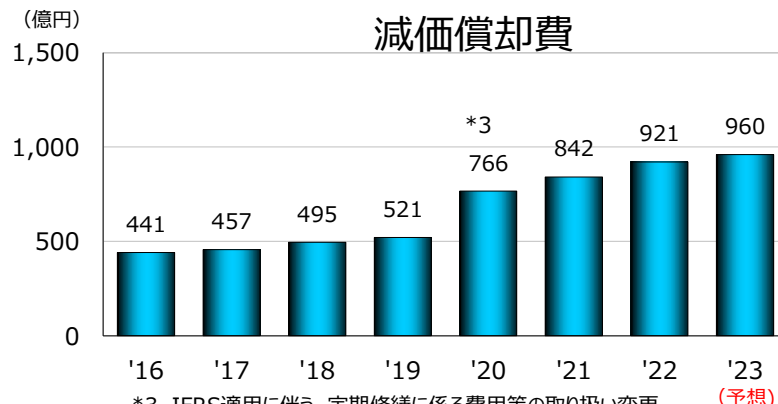


注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

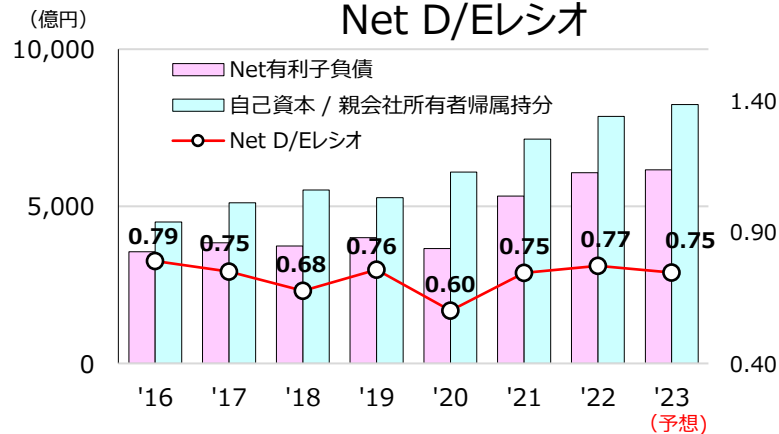
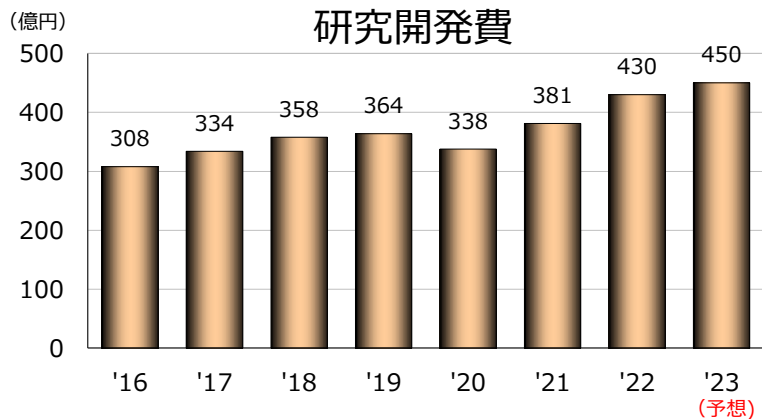


*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

Challenge Diversity One Team